

The Japan Institute of Architects

2024

「建築の未来」

JIA 建築家大会 2024 別府

11/28 thu・29 fri・30 sat

メインシンポジウム（シンポジウム 6 建築の未来Ⅲ）

一般参加可

日時 2024 年 11 月 29 日(金) 14:00 ~ 17:00

会場 別府国際コンベンションセンター（ピーコンプラザ）コンベンションホール

メインシンポジウムは、重松象平氏（建築家/OMA パートナーおよびニューヨーク事務所代表／九州大学大学院人間環境学研究院教授）による「Open-ended Architecture」と題した基調講演と、末廣香織氏（九州大学教授）をモデレーターに迎えて重松象平氏、末光弘和氏（九州大学院准教授）、石山友美氏（秋田公立美術大学准教授）のパネリストが登壇し、「建築の未来」についてのクロストークを展開します。

基調講演

●テーマ

Open-ended Architecture

●講演者（クロストークパネリスト）

重松象平 Shigematsu Shohei

建築家／OMA パートナーおよびニューヨーク事務所代表／九州大学大学院人間環境学研究院教授

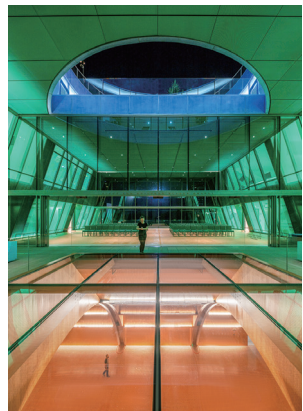
【PROFILE】

1973 年福岡県生まれ。九州大学工学部建築学科卒業後、1998 年より OMA に所属し、2008 年パートナー就任。ハーバート大学 GSD、コロンビア大学 GSAPP など客員教授を歴任。

【主な作品】



Photos: Jason O_Rear



オードリー・
イルマス・
パヴィリオン



Photo: Julian Cassady



Photo: Tomoyuki Kusunose

天神ビジネスセンター



Photo: Jason O_Rear

バッファロー AKG 美術館

クロストーク

（モデレーター）

末廣香織 Suehiro Kaoru

建築家／九州大学大学院教授／NKS2アーキテクト共同主宰



【PROFILE】

1986 年九州大学大学院修士課程修了。1994 年ペルラー・ヘ・インスティテュート建築学大学院修了。1993 年ヘルマン・ヘルツベルハー建築設計事務所。1994-98 年九州大学工学部建築学科助手。1998 年・NKS アーキテクト共同主宰。2005 年・九州大学大学院准教授。2022 年・九州大学大学院教授。

Photo: Masatomo MORIYAMA

（パネリスト）

末光弘和 Suemitsu Hirokazu

建築家／九州大学大学院准教授／SUEP. 主宰



【PROFILE】

1976 年愛媛県生まれ。1999 年東京大学卒業。2001 年同大学大学院修了。2001-06 年伊東豊雄建築設計事務所。2007 年より SUEP. 主宰。2009-11 年横浜国立大学 Y-GSA 設計助手。2020 年より九州大学大学院准教授。

（パネリスト）

石山友美 Ishiyama Tomomi

映画監督／秋田公立美術大学准教授



【PROFILE】

1979 年生まれ。日本女子大学家政学部住居学科卒業。磯崎新アトリエ勤務を経て、渡米。カリフォルニア大学バークレー校大学院、ニューヨーク市立大学大学院で建築、芸術論、社会理論を学ぶ。ニューヨーク市立大学大学院都市デザイン学研究科修士課程修了。

〈座談会〉

JIA 建築家大会 2024 別府に向けて

日時：2024 年 8 月 30 日(金)

場所：JIA 九州事務局

参加者：●佐々木寿久（JIA 九州支部長（アートル建築空間））

●松山将勝（JIA 別府大会／大会委員長（松山建築設計室））

●川津悠嗣（JIA 別府大会／実行委員長（かわつひろし建築工房））

聞き手：●有吉兼次（JIA 別府大会／実行委員広報担当（ズーク））

（敬称略）

開催地決定の経緯

—— 14 年ぶりに九州で開催する建築家大会ですが、支部内の建築家からどのような期待や反響が寄せられていますか。また、支部長として、この大会にどのような想いを抱いていますか。

佐々木●14 年前に北九州市で建築家大会が開催されましたが、その時と比較しても建築を取り巻く環境は大きく変わっています。真剣な議論の場として、今回九州にて建築家大会が開催されることを誇りに思います。建築家大会は全国 10 支部に順番でまわってくるので、沖縄大会、東海（常滑）大会のタイミングを考慮し、2024 年の開催地に手を挙げさせていただきました。通常は開催地の地域会の負担が大きくなりますが、今回は九州支部全体で実行委員会を立ち上げて、九州支部全体で進めている意識が高いですね。九州人の気質だと思いますが、ウェルカムでもてなして盛り上げようとする方が、九州支部の各地域会にいらっしゃって、その方々が大きな力になっている気がします。

—— 九州支部での大会を大分県別府市で開催することにした経緯をお話いただけますか。

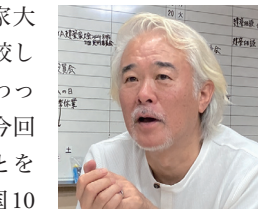
松山●建築家大会をどこで開催するかは大会の成果にも直結する重要な決断になります。加えて地域会の規模も大小ありますので、コンセンサスも含めて決定には時間がかかりました。近年の建築家大会を振り返ると、弘前市や常滑市といった地域色豊かな場所に初めて訪れて、その地の文化に触れる時間はとても新鮮で貴重な経験でしたので、九州でもそんなポテンシャルを持った地で開催したいという想いはありました。

そして九州での開催を議論していた時期に、世界的建築家である磯崎新さんがご逝去されたことは九州建築界にとっても悲しい出来事でした。大分県出身の磯崎さんは、私たち九州人にとって最も誇れる先輩です。建築界に偉大な功績を残された磯崎さんに哀悼の意を表し、全国の JIA 会員が磯崎建築を巡る機会にもなればという想いもあり、ピーコンプラザが所在する大分県別府市が最有力に挙がりました。

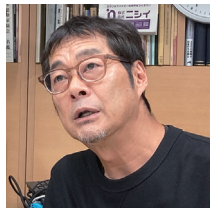
別府市は世界有数の温泉地としては知られていますが、国際



会場のピーコンプラザと別府市内



観光温泉文化都市や国際会議観光都市として、かつての賑わいを取り戻そうと官民一体で都市の再生に取り組んでいる渦中にあります。一方で、時間が止まったかのような



昔ながらのまち並みや昭和の香りがするディープな場所が残っているのもまちの魅力です。

このように、磯崎建築に触れながら、まちとしても魅力があり、皆さんに楽しんでもらえる場所という観点から、別府市で開催する運びとなりました。

川津●全国の人たちから見ると、「別府」の名前は絶対知っていても、行ったことがある人は少ないのではないのでしょうか。こういう機会だったら来てくれるかもしれないし、興味を持ってくださるのではないかという思いがありました。別府に行って感じることは、昔の古びて寂れた温泉街だけではなく、それを逆手にとりながらアートマンスを開催するなど、アートな都市になっています。アルゲリッチ音楽祭が開催されるような器もあり、非常に懐が深いと感じます。昼夜問わず、すごく楽しめるところではないでしょうか。

佐々木●別府は湯布院や湯平温泉、豊後高田など、近くに温泉・名所も多いので日頃の疲れをいやしていただきたいですね。別府、九州に 1 週間ぐらいいてほしいという思いもあります。

松山●建築家は職業柄、建築に没頭するあまり家族と過ごす時間が少なくなりがちですから、ぜひご家族と一緒に別府のまち並みと温泉を堪能していただければと思います。家族旅行としても楽しみなイベントになってほしい。そんな別府大会になれば企画している私たちも嬉しいです。

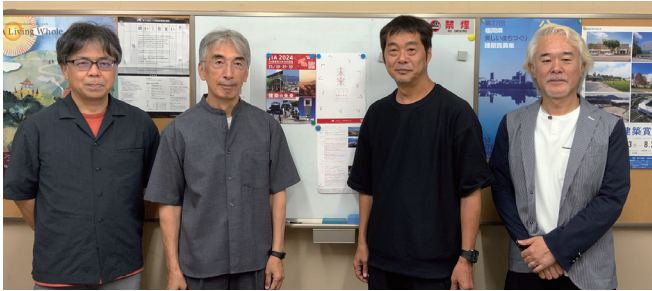
テーマ「建築の未来」

——「建築の未来」というテーマを掲げた背景と、このテーマを通してどのようなことを伝えたいと考えていますか？

松山●「建築の未来」というテーマは、具体性が見えにくく大きすぎるのではないかという意見もありましたが、私たち建築家を取り巻く環境がめまぐるしく変化している今、まさに転換期とも言えるでしょう。その転換期においてストレートな言葉で全国の JIA 仲間と未来について語り合う場にしたいという想いがこのテーマに込められています。

今年は能登半島地震から始まり、直近では南海トラフ地震の予兆が囁かれました。佐藤会長が能登の被災地を視察された際に建築の免震化の重要性を痛感し、建築界全体で防災に本気で取り組まなければならないと提言しています。2016 年の熊本地震での災害支援活動を経験した私たちが伝えるべきことも含めて、今一度議論をしなければならない課題です。

コロナ以降、急激に価格が高騰しコストとの闘いは今なお続いています。さらに 2024 年建設労働問題も重なり、今後もその闘いは続いていくでしょう。こうした不透明な状況下では一括発注が安心であるという流れが加速し、設計と施工の分離発



右から、佐々木寿久九州支部長、松山将勝大会委員長、川津悠嗣大会実行委員長、有吉兼次実行委員（広報担当）

注という信頼が危ぶまれ、建築家の職能を発揮する環境が失われていくのではないかという危機感さえ覚えます。

また、カーボンニュートラル2050に向けて省エネ法も含めた取り組みや、BIM化の促進など、設計環境も大きく変わろうとしています。

さらに、JIAも含めた設計関連団体は会員減少問題を抱えたまま、どのように未来を切り開いていくかということもみんなで乗り越えていかなくてはならない大きな課題です。取り組まなければならない課題は山積していますが、JIAの仲間と共に乗り越えていく「建築の未来」を、さまざまな視点で語り合いたいと考えています。

川津●今回、大会委員長から「建築の未来」というテーマをいただいたときに、正直言うとうそごく大きくてストレートなテーマだと感じました。けれどもしばらくすると、これは九州人の気質的なストレートさだなと思ってきました。何かに引っ掛けて考えると、何か思わせぶりにするのではなくて、この「建築の未来」という大きなテーマに対してちゃんとしっかり向き合おうという意気込みがすごく伝わって、いいなと思い始めました。

「建築の未来」とは何だと言ったときに、やはり自分自身に引き込んでそこから未来を見据えていく必要があります。そういう意味でこれからの時代に向かう自分自身がどうなるのだろうかを含めて考えると、この大きなテーマはすごくいいと今はそう思っています。

九州支部ならではのさまざまな企画

—— **メインシンポジウムの内容についてお話してください。また、会場の特色などがあれば教えてください。**

佐々木●メインシンポジウムでは基調講演でOMAの重松象平さんに「Open-ended Architecture」というテーマでお話いただき、その後末廣香織氏をモデレーターに迎えて重松象平氏・末光弘和氏・石山友美氏のパネリストが登壇して「建築の未来」についてのクロストークを展開します。会場はビーコンプラザで一番広いコンベンションホールを予定しています。

基調講演を重松さんをお願いしたのは、九州の地で生まれ育ち世界を舞台に活躍した磯崎さんが他界して、今、やはり九州の地で生まれ育ち、世界で活躍しているのは重松象平さんだということが一番大きな理由でした。重松さんは世界を見ながら何を捉えているのか、またアフターコロナ以降の建築の未来を提唱されている方です。世界を渡り歩いている建築家が見た建築の未来はどのようなものかを聞いて、議論していきたいと思

います。

—— **メインシンポジウム以外にも、どのような企画が予定されていますか？参加者の方々に楽しんでいただけるような企画、魅力的なエクスカーションやレセプション、JIA マンスがあれば教えてください。**

松山●大会のプログラムとしては、これまでの大会と大きな変化はありません。

その中でも初日11月28日に企画しているJR九州とタイアップした〈特急「A列車で行こう」To 湯布院〉は、特別企画として準備しています。昨年の常滑大会ではまち歩きが非常に好評でしたので、別府大会でもできるだけ別府のまちを散策して地域文化に触れていただく時間を設けています。

裏メニューでは、2日間にわたり〈別府温泉ナイト〉を企画しています。初日は別府市内のライブハウスを貸し切り、昨年の常滑大会で雨天中止になったJIAバンドのリベンジをやります。2日目の夜も連続で集まって絆を深めよう！という企画をして、お酒好きの九州支部ならではの交流会を準備しています。

シンポジウム2の〈偉大な先輩建築家に学ぶ〉はJIA-KIT建築アーカイブスとの連携企画ですが、磯崎新さんにゆかりのある方々に登壇していただき、磯崎さんの人間像に迫ります。石山友美さんの〈だれも知らない建築のはなし〉では、映画上映とともに偉大なる建築家たちの真相を語っていただきます。

2日目は〈熊本から考える災害と未来〉や〈大分から考える木造と未来〉など、九州支部が独自で企画したシンポジウムを開催します。

そして、全国10支部の合同企画である〈注目の若手建築家による建築討論〉も昨年の常滑大会に続いて開催します。若い世代がどのような未来を見据えて活動しているのか。全国から有能な若き建築家たちが集結します。

エクスカーションでは、大分や北九州の磯崎建築を巡るツアーや熊本を巡るツアーを準備していますので、最終日まで別府大会を堪能してほしいですね。

川津●今までの大会と違うところは、今回は基本的に九州支部が企画したものばかりだということです。本部や委員会、各支部が企画したりするものを大会マンスで開催して、大会期間の2日間は基本的に九州支部が考えた「建築の未来」を語る場を提供することが一番大きな違いかと思います。会場がバラバラになったりしないように、九州支部の中で1つのストーリーを作ってプログラムを構成したことも大きいです。

例えばシンポジウムでは「建築の未来Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」があり、「建築の未来Ⅰ」では「磯崎さんのことを語る会を作ろう」と考えました。〈偉大な先輩建築家に学ぶ〉が同じような趣旨の企画だったため一緒に開催することにしました。「建築の未来Ⅱ」は石山修武さんのお嬢さんの石山友美さんが2015年に作られた、「だれも知らない建築のはなし」という映画を上映します。ポストモダンの人たちを総括しながら、もともと磯崎事務所にいらした石山さんが別の切り口で捉えた映像だとうかがったため、ここで石山さんの映画を見ようではないかと話しているうちに石山さんにご登壇いただけることになりました。「建築の未来Ⅲ」はメインシンポジウムであり、これからの建築の未来をお話し



特急「A列車で行こう」

写真提供：JR九州

■「大会参加登録専用サイト」と「宿泊申込専用サイト」からお申し込みください！

大会期間中の大会参加登録、宿泊予約は、右記QRコードからの専用サイトにてスムーズに行えます。例年と異なり、**大会参加登録と宿泊予約は別々のお申し込み**となります。大会参加登録は**9月30日まで**。公式HPをご確認の上、大会参加登録、宿泊先、交通手段のご予約をお願いいたします。

大会登録料		13,000円
登録料は、正会員・専門会員・シニア会員・ジュニア会員・法人協力会員・個人協力会員一律13,000円です。同伴者は半額(6,500円)で、学生・一般は無料です。		
28日(木)	17:00～19:00	ウェルカムパーティー 8,000円
29日(金)	18:00～20:00	レセプションパーティー 15,000円
28日(木)	エクスカーションS	特急「A列車で行こう」To 湯布院 13,000円
30日(土)	エクスカーション1	磯崎新建築のいま 大分編 10,000円
30日(土)	エクスカーション2	磯崎新建築のいま 北九州編 10,000円
30日(土)	エクスカーション3	熊本震災遺構巡り＋文化財修復塾ツアー 13,000円



■大会参加登録URL
<https://niccs.nishitetsutrail.jp/niccs/ja/app/JIA2024>



■宿泊申し込み専用サイトURL
<https://niccs.nishitetsutrail.jp/niccs/ja/app/JIA2411>

いただきます。そして「シンポジウム4」は九州の建築で、熊本地震や豪雨災害から九州、熊本の人たちがどのように立ち直っていったかを語るべきではないかと考えています。九州支部では地震の記録誌を制作中で、それとリンクさせながら組み立てるべきテーマではないか。そして林業県である大分で開催する意味を「シンポジウム5」を通して考えるというように、九州支部で考えた1つのストーリーの中で全体を構成しています。

JIA マンスも大会テーマを意識した企画にしてほしいと依頼しています。未来をどう捉えるかはそれぞれのスタンスで変わってきますが、「未来」というものをキーワードとしてみんなで考えていくことで、この2日間で濃密なものになるのではないかという感じがします。

その後のエクスカーションでは、磯崎さんを巡る大分の旅、北九州の旅、そして、災害の復興を感じさせる熊本の旅、それが繋がったテーマです。大分の旅は大分市内の中で完結しますが、北九州の旅は北九州で降りて帰れます。熊本の旅も大分市を出発して熊本城や熊本空港で解散でき、そこから足を伸ばして他の所にも行くことができます。ぜひ九州全体を楽しんでいただきたい。

ぜひお越しください！

—— **最後にJIA会員の皆様へメッセージをお願いいたします。**

佐々木●建築家大会が九州に決まったときに支部長に就任したことは非常にラッキーだと思っています。重圧もありますが、楽しみにしています。今まで建築家大会は勉強会に行って講演を受けるというイメージでしたが、今回は、討論会のようなイメージで大会期間中、いつ行っても何かが行われているスケジュール構成を、川津さんと佐々木信明さんに作っていただきました。いつどこから入っても建築家大会に参加できることが大きな特徴だと思います。いつでも参加していただけるようスケジュールを組んでいますので、別府、九州に皆さんにお越しいただければありがたいです。本大会の準備が手探りだったため、沖縄支部・東海支部の実行委員の皆様よりご協力、ご助言をいただきました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

松山●JIA建築家大会は、私にとっては同窓会的な感覚で毎年参加していて、普段会えない仲間と年に1回集える特別な場所です。ただ、普段から共に活動している支部仲間とここでも一

緒に行動していることが多いように思います。せっかく全国のJIA仲間が集結するので、支部の垣根を越えて全国に仲間が増えていくのは、JIAの魅力の1つです。そうした交流のきっかけとなる場を別府大会では準備しています。特に2日間にわたる別府温泉ナイトにはぜひ参加していただき、JIAのつながりや絆を深めてほしいです。おもてなしが大好きな九州支部会員が盛り上げますので、夜までお付き合いください。宴会のお誘いばかりになっていますが(笑)。

川津●コンパクトな大会を目指して、九州支部のプログラムはできるだけコンパクトにして、会場は基本的に1か所で開催します。会場にお越しいただければ、それからストーリーをたどっていただけますから、できるだけ楽しんでいただきたいです。

28日のウェルカムパーティーは普段はなかなか立ち入ることのできないビーコンプラザ内の国際会議室で開催します。たまたまレセプションホールが改装中のため、国際会議室で開催でき



ウェルカムパーティー会場

ることになりました。また、29日のレセプションパーティーは、「大分の迎賓館」をコンセプトにつくられた杉乃井ホテルのスギノイホールで開催します。ビーコンプラザより少し距離がありますが、『JIA MAGAZINE』426号(9月号)に掲載したとおり、「温泉宿・ホテル総選挙2021」のビュッフェ部門で第1位を受賞した美味しい料理だと謳っていますので、我々も楽しみにしています。皆さん来ていただければ、絶対満足していただけるような、温泉・食事・そしておもてなし。大満足の大会になること間違いなしと確信をもっています。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

JIA建築家大会2024別府

主催	公益社団法人 日本建築家協会
お問い合わせ	公益社団法人 日本建築家協会九州支部 福岡市中央区薬院1-4-8 あづまビル2F TEL. 092-761-5267 beppu2024@jia-9.org

大会公式ホームページ
<https://www.beppu2024.jia-9.org/>



大会公式HP